

貯法等 保存条件：室温保存
容 器：密閉容器

承認番号 16100AMZ01636000
薬価収載 1986年 3月
販売開始 1967年 3月
再評価結果 1990年 3月

健胃消化剤
日本薬局方 センブリ・重曹散
センブリ・重曹散「ヤマゼン」M

【禁忌】 (次の患者には投与しないこと)

ナトリウム摂取の制限を必要とする患者 (高ナトリウム血症、浮腫、妊娠高血圧症候群等) [ナトリウムの貯留増加により、症状が悪化するおそれがある。]

【併用禁忌】 (併用しないこと)

※ヘキサミン (「相互作用」の項参照)

【組成・性状】

組成：本品100g中、下記成分・分量を含有する。

日局	センブリ末	3g
日局	炭酸水素ナトリウム	70g
賦形剤	日局 パレイショデンプン	27g

性状：本品は淡灰黄色で、味は苦い。

【効能・効果】

下記消化器症状の改善

食欲不振、胃部不快感、胃もたれ、嘔気・嘔吐

【用法・用量】

通常、成人1回 0.5～1.0gを1日3回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 重篤な消化管潰瘍のある患者 [炭酸水素ナトリウムを配合しているため、症状が悪化するおそれがある。]
- (2) 腎障害のある患者 [ナトリウム貯留による浮腫があらわれるおそれがある。]
- (3) 心不全の患者、高血圧症の患者 [ナトリウム過剰により、これらの症状が悪化するおそれがある。]
- (4) 肺機能障害のある患者 [呼吸性アルカローシスになるおそれがある。]
- (5) 低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者 [症状が悪化するおそれがある。]

2. 相互作用

- (1) 併用禁忌 (併用しないこと)

薬 剤 名	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
※ヘキサミン (ヘキサミン静注液)	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり抗菌作用を発現するが、本剤は尿のpHを上昇させ、ヘキサミンの効果を減弱させる。

- (2) 併用注意 (併用に注意すること)

本剤は制酸作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄にも影響を与えることがある。

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【薬効薬理】

古くから使用されてきた健胃散である。制酸薬の炭酸水素ナトリウムに、苦味健胃作用のあるセンブリ末を配合した苦味制酸健胃薬で、ジアスターゼ、その他を配合して薬用される。

【有効成分に関する理化学的知見】

(1) センブリ末

本品はセンブリ *Swertia japonica* Makino (Gentianaceae) の開花期の全草を粉末としたものである。

一般名： [日局]センブリ末(当薬末) Powdered *Swertia* Herb

性 状：本品は灰黄緑色～黄褐色を呈し、わずかににおいがあり、味は極めて苦く、残留性である。

成 分：苦味成分セコイリド配糖体 swertiamarin (2～10%)、sweroside、gentiopicroside、amarogentin 及び amaroswerin などを含む。

(2) 炭酸水素ナトリウム (重曹)

一般名：〔日局〕炭酸水素ナトリウム (重碳酸ナトリウム、重曹) Sodium Bicarbonate

化学名：Sodium Hydrogen Carbonate

分子式：NaHCO₃

分子量：84.01

性状：本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、特異な塩味がある。
本品は水にやや溶けやすく、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
本品は湿った空气中で徐々に分解する。

pH：本品1.0gを水20mLに溶かした液のpHは7.9～8.4である。

【包装】 500g 1kg×10 10kg

【主要文献】 日本薬局方解説書 廣川書店

【文献請求先】 山善製薬株式会社 学術室 TEL 06-6231-1821 FAX 06-6231-1824
〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番4号

項目	内容
性状	本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、特異な塩味がある。
溶解性	本品は水にやや溶けやすく、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
pH	本品1.0gを水20mLに溶かした液のpHは7.9～8.4である。

製造販売元



山善製薬株式会社

大阪市中央区道修町2丁目2番4号



5.17.09